

## 平成 30 年度第 3 回横須賀市スポーツ推進審議会 会議録

- 日 時 平成 30 年（2019 年） 3 月 28 日（木） 15:00～16:30
- 会 場 横須賀市役所本庁 10 階 第 4 委員会室
- 出席委員 横須賀市スポーツ推進審議会委員（敬称略 50 音順）  
磯部忠、上杉孝之、柏木雅一、加藤努、工藤幸久、  
東海林義勝、鈴木英雄、鈴木満、滝瀬絹子、
- 事務局 文化スポーツ観光部 上条浩部長  
スポーツ振興課 高橋哲也課長、柴崎正係長、蛭田茂穂係長、  
松浦政行主査、才竹健太郎（記録者）  
保健体育課 鎌原徳宗課長、志村康浩係長
- 議事内容 開会  
1 横須賀市あいさつ  
2 議 題  
（1）平成 30 年度スポーツ関係事業進捗状況について  
（2）平成 30 年度スポーツ関係事業概要について  
（3）スポーツリズムトレーニング普及事業について  
（4）平成 31 年度に複数の部で行うスポーツ関係事業概要について  
・追浜地域のスポーツを核としたまちづくりの推進について  
・原動機付自転車オリジナルナンバープレートの導入について  
3 報告事項  
（1）ねんりんピックかながわ 2021 開催について  
（2）体育会館の改修について  
（3）体育会館利用料金の改正について  
4 意見交換
- 資 料 【事前配付資料】  
1 平成 30 年度スポーツ関係事業進捗状況  
2 平成 31 年度スポーツ関係事業予定  
3 スポーツリズムトレーニング普及事業について  
4 追浜地域のスポーツを核としたまちづくりの推進について  
5 オリジナルナンバープレートの導入について  
6 意見交換シート
- 【当日配付資料】  
1 平成 31 年度スポーツ・学校体育関係事業概要（予算概要）  
2 横須賀市スポーツ大会出場者奨励金について

## ●開会

事務局（松浦主査）が、平成30年度第3回横須賀市スポーツ推進審議会の開会を告げた。

### 1 横須賀市あいさつ

上条文化スポーツ観光部長が挨拶を行った。

## ●定足数の確認

14名の委員のうち9名の委員が出席しており、スポーツ推進審議会条例第4条に基づく半数を超えていることから、会議は成立となった。

## ●傍聴者の確認

傍聴を希望される方はいなかった。

## 2 議題

### (1) 平成30年度社会体育・学校体育関係事業概要及び進捗状況について

#### ●概要説明

事務局（松浦主査）が資料1をもとに11月以降に実施された事業を中心に説明した。

#### 【要旨】

「横須賀市スポーツ表彰式」について、スポーツ大賞1名、体育功労者12名、スポーツ栄光章は団体15チームと個人68名を表彰。特に顕著な成績を残した選手へ贈られるスポーツ大賞表彰は、大貫渉選手（(株)サガミ所属、市アーチェリー協会加盟員）が受賞。表彰式後に、流通経済大学教授で元体操日本代表の田中光氏に『オリンピックに向けて～頑張れ体操日本！～』をテーマに講演したことを報告した。

#### ●審議・意見交換

##### □委員長

ただいまの説明につきまして質問・ご意見がございましたらお願いいたします。

⇒発言なし

## (2) 平成 31 年度スポーツ関係事業概要（予算概要）について

### ● 概要説明

当日配布資料1をもとに、事務局(蛭田係長、柴崎係長、志村係長)から社会体育関係、施設関係、学校体育関係について、30年度と変更のある点を中心に説明した。

#### 【社会体育関係要旨】

- ・「市民スポーツ教室」と「市民レクリエーション行事等」の内容にウインドサーフィン体験教室を追加。
- ・「全国・国際大会等出場者奨励金」について、奨励金の交付額を変更する。
- ・「SOMPOボールゲームフェスタ」を本市で開催し、主に小学生を対象に、同機構に所属するトップアスリートとさまざまな団体ボール競技を体験するプログラムの実施を予定している。
- ・「プロスポーツふれあいプロジェクト」について横浜DeNAベイスターズと横浜Fマリノスがホームタウンチームであることを広く市民に周知し、応援を呼びかけるPRシートを公用車に貼る。
- ・予算は、1億7,376万4千円で、トータルでは前年度比267万5千円の減。

#### 【施設関係要旨】

- ・体育会館営繕工事費について、特に北体育会館特定天井改修その他工事は、平成31～33年度の継続事業であり、競技場の天井張替、照明のLED化及び床板改修を予定している。耐震化による安全性の向上が大きな目的。
- ・くりはま花の国プール熱源その他改修工事は、現在、蒸気と電気の供給元となっている南処理工場の稼働停止に対応するため、ボイラー及び受変電設備の更新を行う。
- ・体育器具購入費では、バスケットゴール、ランニングマシン、卓球台、体操用マット、平均台などの購入を予定。
- ・予算は、約10億300万円、前年度比で約1億700万円の減。メインアリーナ天井その他改修工事ははじめとした大きな改修が完了したことが主な理由。

#### 【学校体育関係要旨】

- ・今年度とほぼ同様の事業を計画。
- ・中学校部活動支援事業費は、顧問の競技経験や指導経験がないなど、各学校の実情に応じ、専門の技術者を派遣して、学校の部活動運営を支援するための経費。31年度は、技術指導の他、生徒の引率等が可能となる部活動指導員をモデル校に試験的に配置する予定。
- ・予算は、計9千255万1千円で、前年度予算と比べ603万3千円の増。おもに部活動指導員の配置に関する予算が増額されたため。

### ● 審議・意見交換

#### □ 委員長

部活動指導員派遣について、行政・学校・指導者団体と連携をうまく図りながら、ぜひいい実践をしてもらいたい。

## (3) スポーツリズムトレーニング普及事業について

## ● 概要説明

事務局(才竹)が資料3をもとに動画を交えて事業の概要を説明した。

### 【要旨】

小学校等を対象に、リズムトレーニング協会認定講師を派遣し、体育の授業などでリズムトレーニングを指導。リズムトレーニングの基本的な動きを習得し、自分達で主運動前のウォーミングアップとして行えることを目標とする。事業後も体育の授業のウォーミングアップとして取り入れてもらい、継続してリズムトレーニングを行ってもらい、いずれは中学校での体育や運動部活動での活用につなげていく。

## ● 審議・意見交換

### □ 委員長

ただいまの説明につきまして質問・ご意見がございましたらお願いいたします。

⇒発言なし

## (4) 平成31年度に複数の部で行うスポーツ関係事業概要について

### ● 概要説明

事務局(松浦主査)が資料4・5をもとに事業の概要を説明した。

#### 【要旨1】 追浜地域のスポーツを核としたまちづくりの推進について

横浜 DeNA ベイスターズのファーム施設完成にあわせ、ベイスターズ、京急、地元商店街と連携した取り組みによる追浜地域の集客促進とともに、来場者の利便性の向上を図る。

- ・スタジアムリニューアル構想を策定。ナイター照明や施設改修の実施設計を行う。
- ・建設中の総合練習場「DOCK OF BAYSTARS YOKOSUKA」のオープニングセレモニーを8月に開催。施設完成後には施設見学会や、歓迎セレモニーなども実施。
- ・地元商店街と連携したスタンプラリーを、シーズン開幕に合わせて実施中。
- ・横須賀スタジアムへのアクセス道をベイスターズ装飾にする。

#### 【要旨2】 原動機付自転車オリジナルナンバープレートの導入について

本市が交付する125cc以下のバイクのナンバープレートに、横浜 F・マリノスのデザインを導入し、ホームタウンチームであることを市民に広くPRする。

- ・普通プレートとオリジナルプレートは選択制とし、どちらも無料で交付
- ・すでに普通プレートをお持ちの方も、一回に限り無料でオリジナルプレートへの変更ができる。11月の交付開始を予定

## ● 審議・意見交換

### □ 委員長

ただいまの説明につきまして質問・ご意見がございましたらお願いいたします。

⇒発言なし

### 3 報告事項

#### (1) ねんりんピックかながわ 2021 開催について

2021 年度に「第 34 回ねんりんピックかながわ 2021」を神奈川県および県内 3 政令指定都市が主催となり神奈川県全域で開催。本市では卓球大会を不入斗の総合体育会館で行う。また、総合閉会式とパッチワークキルトの展示会を横須賀芸術劇場で行う。

#### (2) 体育会館の改修について

北体育会館、くりはま花の国プールなどの改修工事を予定。休館期間などの詳細が決まり次第、適宜ご報告。

#### (3) 体育会館利用料金の改正について

スポーツ振興課では体育会館等 7 施設を所管しており、これらに係る利用料金の見直しを現在検討中。スケジュールとしては、平成 31 年 9 月定例議会に体育会館条例改正議案を提出し、平成 32 年 4 月の施行を予定。

### 4 意見交換

#### □委員

市長部局にスポーツ振興課が移行し、イベントなど様々な部分でスムーズに事が進むようになったように感じる。ベイスターズやマリノスなど練習場などができたり、動きが見えるようになってきた。国道 357 号線も開発が進んで横浜と追浜のアクセスが良くなっているように感じる。我々市民によりわかるよう、見える化を推進してもらいたい。

横須賀生まれ、横須賀育ちの子ども・選手の活躍をもっと PR してもらいたい。また、活躍した時だけではなく、その後や現在の様子がわかるよう、継続的に市民の目に触れるような工夫をしていただきたい。

#### □委員

体育振興会は各学区で、それぞれの地域で活動しているため、会長含め一同に会することはないので、自分の学区のを中心にお話したい。

各行事など企画から運営、お金の管理など非常に大変。これらを側面からサポートしている市に感謝している。

#### □委員

子ども達の体力テストについて、小学校 5 年生、神奈川県は全国でも下の方、特に女子は最下位。運動実施の二極化が顕著なので、スポーツリズムトレーニングの事業など子ども達が楽しく体を動かすことについて、普及を進めていただきたい。

現在も行っている地域密着のプロスポーツチームの出前授業について、各学校に最低一回は来てもらうように是非お願いしたい。

□委員

商店街のお客さんも高齢化進んでいる。お客さんの健康を維持する取組として、健康体操教室的なものを進めているが、お金の関係もあり、年間を通じて行うのが難しい。スポーツリズムトレーニングの紹介があったが、高齢者向けにライトにしたものがあると、商店街の集まりのなかでも行いやすいし、普及していくのではないかと思う。ベイスターズやマリノスの取組みも部署連携をしているので、高齢者の健康管理の観点から、商業振興課、健康づくり課とも連携してもらえると良いのではないか。

京急が百貨店等でイベントを行ったり、駅のデコレーションをしたりしている。街全体で雰囲気を出し出すことは、盛り上げるには大事なこと。例えば、京急のwing号で、追浜直通のベイスターズトレイン、久里浜直通のマリノストレインなど連携した盛り上げ方ができると面白いのではないか。

□委員

障害者は、障害の種類も様々であるが、高齢化もあり、健康の維持と機能訓練を兼ねてスポーツを取り入れていることがある。神奈川県全体で障害者スポーツ大会を毎年開催している。神奈川県の方で、障害者スポーツ協会の立ち上げを考えているようだ。パラリンピックに出場できるようなアスリートを養成することも構想にあるようだ。

□委員

総合型地域スポーツクラブでは市の方に大変お世話になっている。それが市民の体力向上や健康維持につながっている。その中で昨年「放課後子ども教室」という名称で、体力だけではなく知育ということで、宿題などの学習面で子供に教える活動をしている。体育協会では、体力だけではなく、知・徳・医で健全な育成を目指している。

市体育協会では、研修会・講習会が数年前に比べて格段に増え、活動が充実している。

国際大会などの大規模大会の際に、宿泊施設が不足していると感じている。大会を誘致する上で、宿泊施設の整備を横須賀市に積極的にやってもらいたい。

□委員

市レクリエーション協会の所属団体である「家庭婦人卓球連盟」が「女性卓球連盟」に名称変更なった。

地域で小さな子どもが自由に遊べる場所がもっと増えるように、整備してほしい。

□委員

子どもの時にやってきたこと（ラジオ体操）などは、校歌や市歌が今でも歌えるように、大人になっても年を重ねても体が覚えている。小さな子供からプロまでやっているようなスポーツリズムトレーニングも、体でリズムを覚えて生涯的にできる可能性がある。なので是非とも普及させてほしい。

□委員

少子化でスポーツ少年団に所属するチームが減っていて残念。子ども達に勧めてほしい。

⇒その他に発言無し。

- 以上で、審議が終了し議長降壇の後閉会した。